



10月いちご組だより

2022年10月 尚徳福祉会 末長こぐま保育園

涼しい秋の風が流れ、過ごしやすくなりました。子ども達の活動量も増え、ホールや戸外で元気に体を動かしています。保育者の動きを真似て四つ這いをしたり、マットのお山に登ったり♪自分だけの世界から、大人とのやり取りを楽しむことも増えてきました。これからも外でたくさん歩いたり登ったり、草木を触ったりと探索活動を楽しんでいきたいと思ひます。

また、室内では友だち同士の関わりが増えてきました。以前は別々の場所で遊んでいたのに、最近では同じ場所で遊ぶことが増えてきました。視野が広がり周囲にいる子を認識し始めたようです。月齢の高い子のやることは同じ0才児でも興味津々。動き方や遊具の遊び方をよく見えています。友だちの遊びが気になりだし、横から手を伸ばす姿も。持っていた遊具を離すまいと「ア〜!!」と声を出しながら怒る姿も見られるようになりました。そうかと思えば、遊具を「どうぞ!」と渡す姿も見られたり、他の子が笑っていると一緒に笑ったり微笑ましい姿も見られます。他児を感じやすい位置、距離を考えつつ、『一緒にいると快い』『自分もしたい』と意欲を高める関係を育てていけるようにしていきたいと思ひています。

バスタオルをご用意いただき、
ありがとうございました。
今後は必要ありません。



はらぺこあおむし!

はらぺこあおむしの手作りおもちゃを作ってみました。箱を出すと、何事かと興味津津の子ども達。保育者が穴の中にあおむしを入れると、反対側からニョキと顔を出すあおむし。出たり引っ込めたり動かすと、不思議そうに何度も穴をのぞき込んでいます。ニコニコ笑顔で笑いつつ後ずさりする子もいれば、穴に指を突っ込む子どもも。「おお〜、おう」「オッ!」と声をあげ、自分たちであおむしを入れたり引っ張ったりして遊んでいます。指でつまむ動作、繋げる動作、どれも大切な指先の運動です。今後も子ども達の発達を考えながら、興味の持てる遊びを取り入れていきたいと思ひています。



👕👖👗👚 薄着で過ごそう!

朝は肌寒い日がありますが、日中活動をしていると暑くなります。着替えは半袖メインでご用意ください。また、長袖は薄手のものをお持ちください。



子どもは皮膚感覚を刺激されて育ちます。外気温を肌で感じることで体温を調整する力や体内の水分を逃がさないようにする力が育っていきます。また、身体機能も発達途上の子ども達は厚着になると動きづらく、転倒したときに手で身体が支えられずに思わぬ怪我を引き起こすこともあります。

子どもの服装は大人より一枚少なくするというのを目安に調整してあげてください。また、手足が冷たいと感じても手足の付け根や体幹が温かければ寒くはないということなので触って確かめてみてください。登降園時に肌寒いようでしたら半袖の上に薄手の上着やトレーナーを着用し、園に着いたら一枚脱ぐのも良いですね♪